

長野工業高等専門学校	開講年度	平成29年度(2017年度)	授業科目	基礎数学B
科目基礎情報				
科目番号	0045	科目区分	一般 / 必修	
授業形態	授業	単位の種別と単位数	履修単位: 4	
開設学科	一般科	対象学年	1	
開設期	通年	週時間数	4	
教科書/教材	教科書: 高遠節夫, 前田善文 他「新基礎数学」大日本図書 / 問題集: 高遠節夫, 濱口直樹 他「新基礎数学問題集」 大日本図書			
担当教員	小原 大樹, 西信 洋和, 平戸 良弘			
到達目標				
基礎数学Bにおける基本的事項と標準的な計算についての概要を理解することを目標とする。授業内容を60%以上理解できることで、学習教育目標の(C-1)の達成とする。				
ルーブリック				
	理想的な到達レベルの目安	標準的な到達レベルの目安	未到達レベルの目安	
評価項目1	各単元において数学的な性質を理解し、応用問題を解くことができる。	各単元における基本的な計算方法を理解し、標準問題を解くことができる。	各単元における基本問題を解くことができない。	
学科の到達目標項目との関係				
教育方法等				
概要	数学の基礎学力を養う。関数、方程式と不等式、図形と式、数列についての理解を通して、基礎的な知識の習得と技能の習熟を図るとともに、数学的な見方や考え方を学び、それらを的確に活用する能力を伸ばす。			
授業の進め方・方法	授業は講義と問題演習を中心に進める。			
注意点	<成績評価> 試験(70%)および平常点(30%)の合計100点満点で(C-1)を評価し、合計の6割以上を獲得した者を合格とする。 <オフィスアワー> 水曜日 14:30 ~ 15:00 <後修科目> 微分積分I, 線形代数I <関連科目> 基礎数学A, 基礎数学演習			
授業計画				
	週	授業内容	週ごとの到達目標	
前期	1stQ	1週	鋭角の三角比、鈍角の三角比	
		2週	三角比の相互関係	
		3週	正弦定理、余弦定理、三角形の面積	
		4週	関数とグラフ	
		5週	2次関数の最大・最小	
		6週	2次関数と2次方程式・2次不等式	
		7週	べき関数、分数関数	
		8週	無理関数、グラフの移動	
後期	2ndQ	9週	逆関数	
		10週	累乗根、指数の拡張	
		11週	指數関数、方程式と不等式	
		12週	対数	
		13週	対数関数	
		14週	方程式と不等式、常用対数	
		15週	一般角、一般角の三角関数	
		16週	前期末達成度試験	
後期	3rdQ	1週	弧度法、三角関数の性質	
		2週	三角関数のグラフ	
		3週	加法定理	
		4週	2倍角の公式、半角の公式、	
		5週	和積変形、三角関数の合成	
		6週	2点間の距離と内分点	

	7週	直線の方程式, 2直線の関係	直線の方程式や直線の性質（傾き, 平行, 垂直等）を理解し, 様々な条件から直線の方程式を求めることができ, 関連する問題が解ける.
	8週	円の方程式	円の性質を理解し, その方程式を求めることができる.
4thQ	9週	橢円, 双曲線	橢円, 双曲線の性質を理解し, その方程式を求めることができる.
	10週	放物線, 2次曲線の接線	放物線の性質を理解し, その方程式を求めることがで, 放物線の接線について理解し, その方程式を求めることができる.
	11週	不等式と領域	不等式で表された領域を図示できる.
	12週	数列, 等差数列	等差数列を理解し, 一般項やその和を求めることがで, 等差数列を理解し, 一般項やその和を求めることができる.
	13週	等比数列	等比数列を理解し, 一般項やその和を求めることがで, 等比数列を理解し, 一般項やその和を求めることができる.
	14週	いろいろな数列の和	総和記号を用いた基本的な数列の和を計算することができる.
	15週	漸化式と数学的帰納法	帰納的定義や漸化式で表された数列の意味を理解し, 基本的な数列の一般項を求める能够である. 数学的帰納法を用いた証明ができる.
	16週	学年末達成度試験	

#### 評価割合

	試験	小テスト	平常点	レポート	その他	合計
総合評価割合	70	0	30	0	0	100
配点	70	0	30	0	0	100